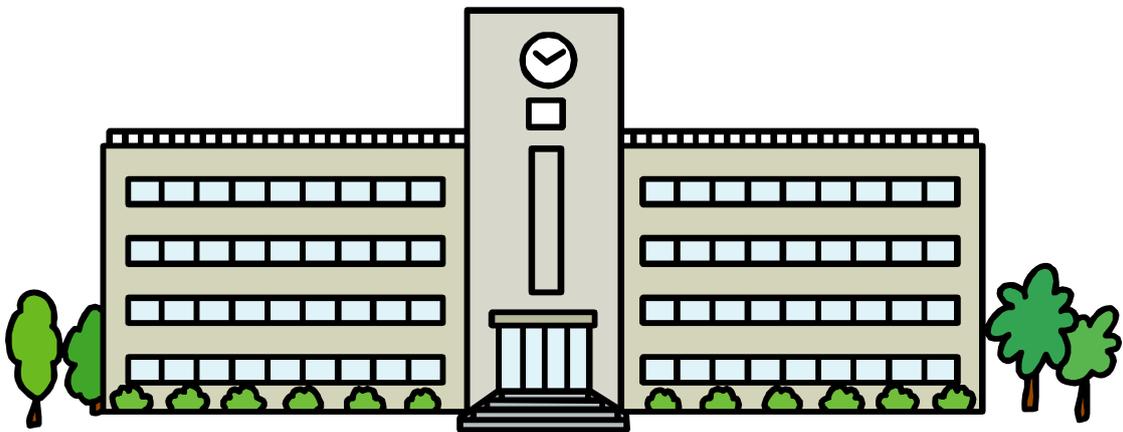


4

教育



幼稚園数

728園

4-01

指標 2012年度の神奈川県内の幼稚園数は728園で、前年度より3園(△0.4%)減少しています。2000年度と比べると48園(△6.2%)減少しています。

1949年度以降で最も幼稚園数が多かったのは1982年度の860園ですが、その後は減少傾向が続いており、増加した年はありません。

最も幼稚園数が多かった1982年度に比べると、2012年度は132園(△15.3%)減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

幼稚園児数

14万3312人

4-02

指標 2012年度の神奈川県内の幼稚園児数は14万3312人で、前年度より439人(0.3%)増加しました。2000年度と比べると1747人(1.2%)増加しています。

1949年度以降で、最も幼稚園児数が多かったのは、1978年度の20万5854人です。その後減少傾向となりましたが、1996年度には減少傾向が止まり、2001年度を除くと、2006年度まで増加が続き、2007年度から2010年度までは4年連続で減少していましたが、2011年度、2012年度と2年連続で増加しています。

最も幼稚園児数が多かった1978年度に比べると、2012年度は6万2542人(△30.4%)減少しています。

2012年度の幼稚園児数の男女別の内訳は、男児が7万3042人、女児が7万270人で、女児数を100とすると男児数は103.9となります。

また年齢別でみると、3歳児が3万8403人(構成比26.8%)、4歳児が5万2233人(構成比36.4%)、5歳児が5万2676人(構成比36.8%)です。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

幼稚園教員数(本務者)

8338人

4-03

指標 2012年度の神奈川県内の幼稚園の本務教員数は8338人で前年度より10人(△0.1%)減少しており、3年ぶりの減少となりました。2000年度と比べると740人(9.7%)増加しています。

なお、2012年度の本務教員1人当たりの園児数は17.2人で、2000年度(18.6人)と比べると、1.4人減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

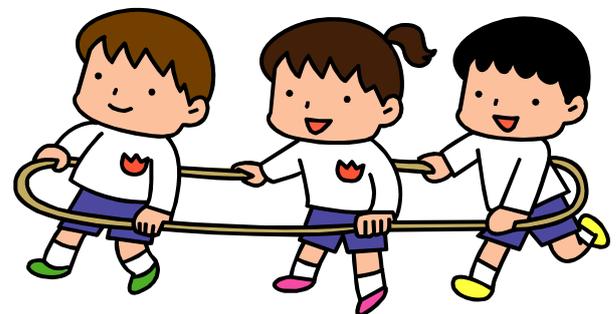
用語 教員(本務者)

教員の「本務者」とは、当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員のことをいい、本務者以外を兼務者といいます。

年齢別幼稚園児数の推移 (神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位:人)

区分	計	3歳児	4歳児	5歳児
2008	146,906	34,739	55,507	56,660
2009	144,332	34,820	53,876	55,636
2010	142,696	36,854	51,804	54,038
2011	142,873	38,465	52,587	51,821
2012年度 (構成比)	143,312 (100.0%)	38,403 (26.8%)	52,233 (36.4%)	52,676 (36.8%)
男	73,042	19,559	26,775	26,708
女	70,270	18,844	25,458	25,968



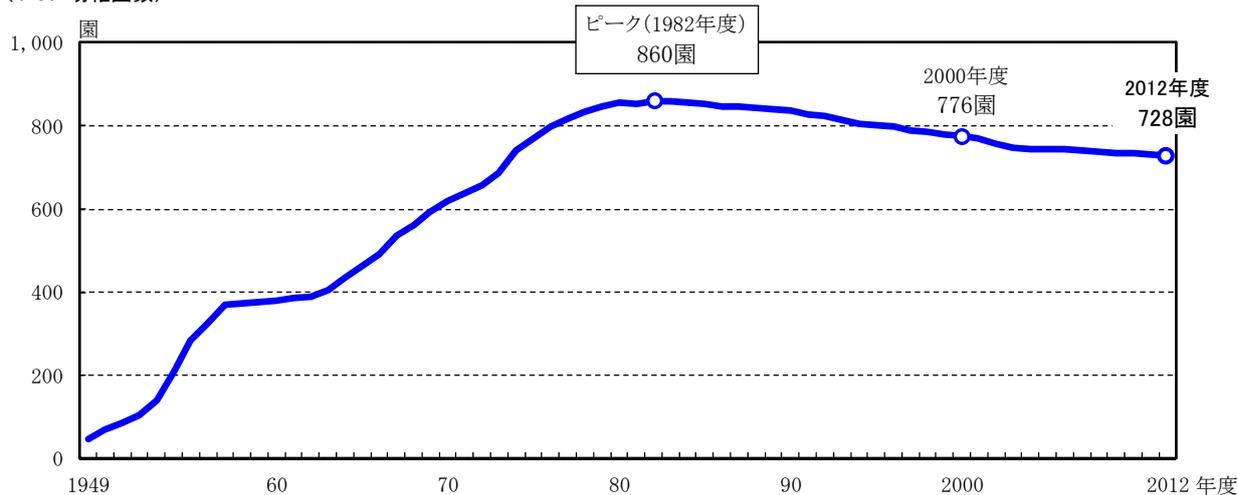
統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期: 毎年
右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

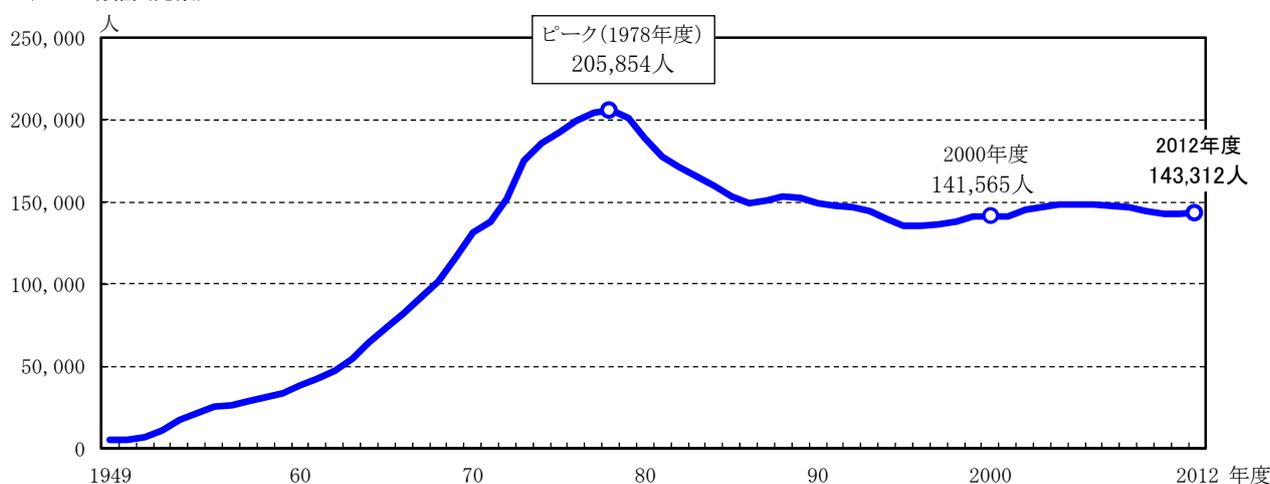
トピックス 学校基本調査

学校基本調査 [文部科学省]
公表周期: 毎年
学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

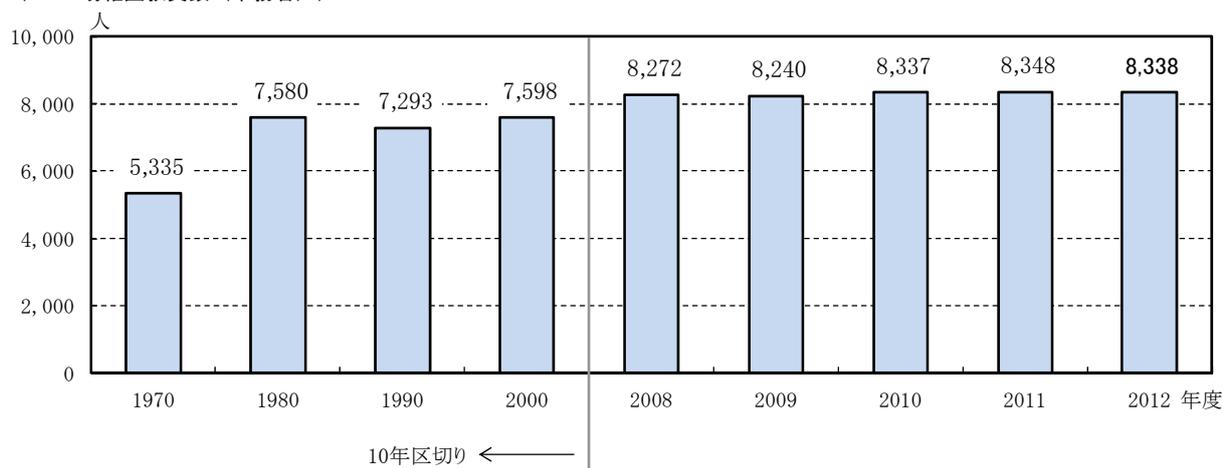
(4-01 幼稚園数)



(4-02 幼稚園児数)



(4-03 幼稚園教員数(本務者))



(4-01~4-03 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-01~4-03

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 教員数は本務者の数。本務者とは当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員をいう。

小学校数

892校 4-04

指標 2012年度の神奈川県内の小学校数は892校で、前年度と同数でした。2000年度と比べると9校（△1.0%）減少しています。

神奈川県内の小学校数は、1970年代前半から1980年代前半にかけて毎年20校を超えるペースで増加していました。その後、ペースは緩やかになりましたが、2000年代前半まで増加傾向が続いていました。

1949年度以降で最も小学校数が多かったのは2004年度、2005年度の907校ですが、その後は減少傾向に転じています。

最も小学校数が多かった2004年度、2005年度に比べると、2012年度は15校（△1.7%）減少しています。

設置者別では、国立が2校、公立が860校、私立が30校で、いずれも前年度と同数となっています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

設置者別小学校数の推移

（神奈川県計）

（各年度5月1日現在、単位：校）

区分	計	国立	公立	私立
2008	895	2	864	29
2009	895	2	863	30
2010	893	2	861	30
2011	892	2	860	30
2012年度	892	2	860	30

男女別小学校児童数の推移

（神奈川県計）

（各年度5月1日現在、単位：人）

区分	計	男子	女子
2008	487,544	249,149	238,395
2009	488,120	249,113	239,007
2010	486,659	248,512	238,147
2011	481,911	245,998	235,913
2012年度	475,519	242,975	232,544

小学校児童数

47万5519人 4-05

指標 2012年度の神奈川県内の小学校児童数は47万5519人で、前年度より6392人（△1.3%）減少しました。2000年度と比べると1万8026人（3.9%）増加しています。

1949年度以降で最も児童数が多かったのは、1981年度の75万4318人で、その後は2000年度まで減少が続いていましたが、2001年度から2009年度までは増加しました。2010年度には再び減少に転じ、2012年度まで3年連続の減少となっています。

最も児童数が多かった1981年度に比べると、2012年度は27万8799人（△37.0%）減少しています。

2012年度の小学校児童数の男女別の内訳は、男子24万2975人、女子23万2544人で、女子数を100とすると男子数は104.5となります。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

小学校教員数（本務者）

2万4799人 4-06

指標 2012年度の神奈川県内の小学校の本務教員数は2万4799人で前年度より267人（1.1%）増加しました。2000年度と比べると3275人（15.2%）増加しています。

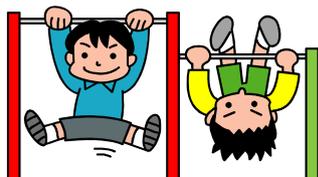
なお、2012年度の本務教員1人当たりの児童数は19.2人で、2000年度（21.3人）と比べると、2.1人減少しています。

男女別では、2012年度の女性教員は1万6285人で、全教員数に対する割合は65.7%となり、男性教員は8514人で、34.3%となっています。女性教員の割合は2000年度の65.9%から0.2ポイント低下しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

用語 教員（本務者）

教員の「本務者」とは、当該校を本務校とする常勤（フルタイム）の教員のことをいい、本務者以外を兼務者といいます。



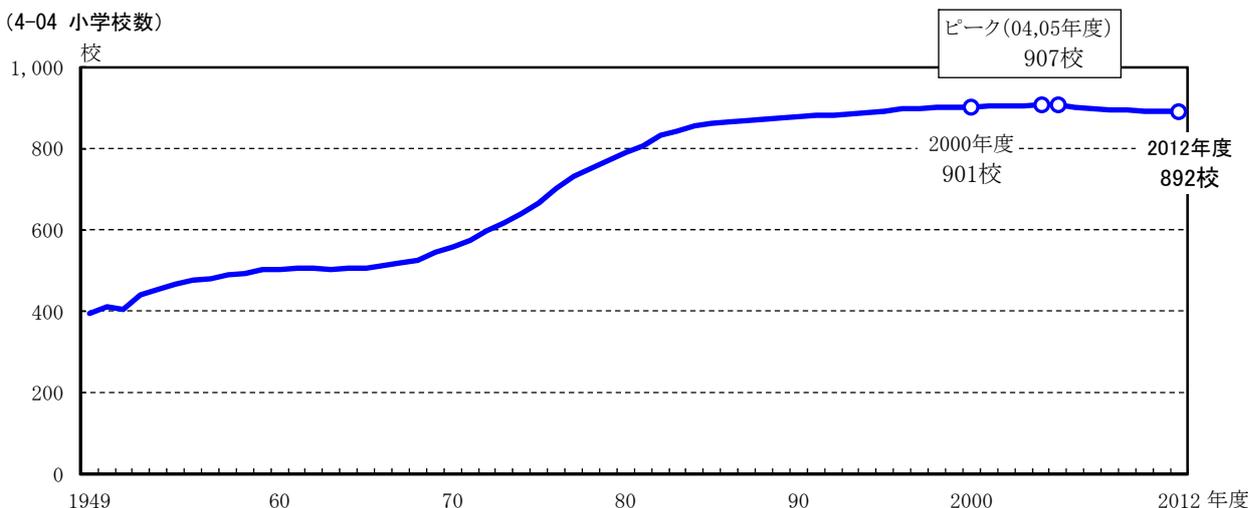
統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年
右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

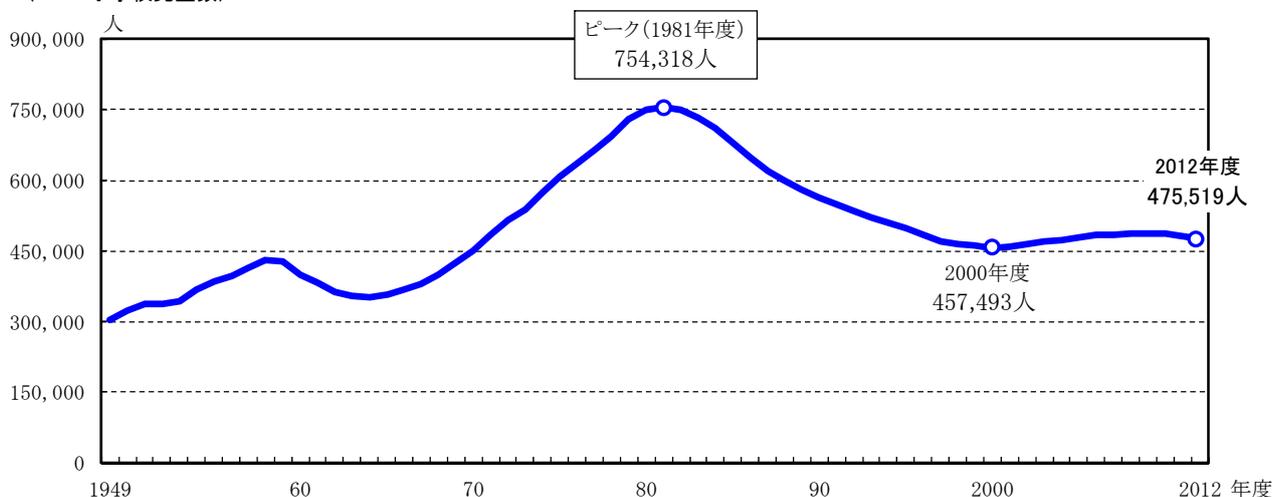
トピックス 学校基本調査

学校基本調査 [文部科学省]
公表周期：毎年
学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

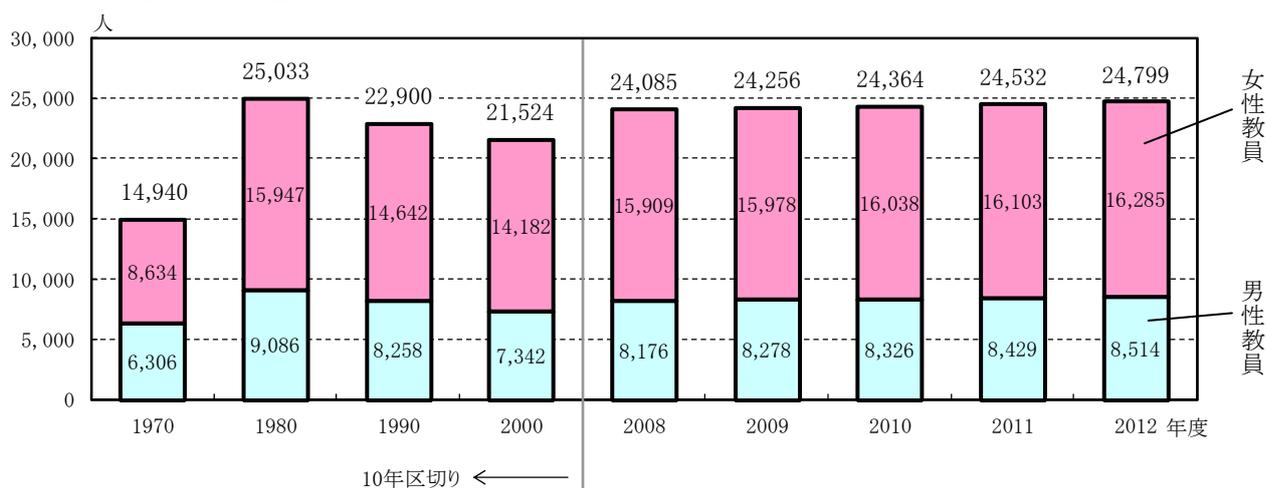
(4-04 小学校数)



(4-05 小学校児童数)



(4-06 小学校教員数 (本務者))



(4-04~4-06 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-04~4-06

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 国立、公立、私立の合計で分校を含む(1970年度、1980年度の教員数は国立を除く)。
- 3) 教員数は本務者の数。本務者とは当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員をいう。

中学校数

481校

4-07

指標 2012年度の神奈川県内の中学校数は481校で、前年度より1校(0.2%)増加しました。2000年度と比べても1校(0.2%)増加しています。

神奈川県内の中学校数は、1970年代中頃から1980年代中頃にかけて大きく増加しており、1976年度と1986年度を比較すると、10年間で129校増加しました。

その後は、増加傾向ペースが緩やかになり、1990年代中頃からは480校前後と横ばいで推移しました。

1949年度以降で最も中学校数が多かったのは、2005年度、2006年度の485校ですが、2012年度はそこから4校(△0.8%)減少しています。

設置者別では、国立が2校、私立が64校で前年度と同数となり、公立が415校で1校増加しました。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

設置者別中学校数の推移

(神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：校)

区分	計	国立	公立	私立
2008	479	2	414	63
2009	480	2	414	64
2010	479	2	413	64
2011	480	2	414	64
2012年度	481	2	415	64

男女別中学校生徒数の推移

(神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：人)

区分	計	男子	女子
2008	228,120	117,297	110,823
2009	230,944	118,928	112,016
2010	231,291	119,108	112,183
2011	235,238	121,077	114,161
2012年度	236,734	121,412	115,322

中学校生徒数

23万6734人

4-08

指標 2012年度の神奈川県内の中学校生徒数は23万6734人で、前年度より1496人(0.6%)増加しました。2000年度と比べると426人(0.2%)増加しています。

1949年度以降で最も生徒数が多かったのは、1986年度の38万4846人で、その後は2004年度まで減少が続いていましたが、2005年度から2012年度まで8年連続の増加となっています。

最も生徒数が多かった1986年度に比べると、2012年度は14万8112人(△38.5%)減少しています。

2012年度の中学校生徒数の男女別の内訳は、男子12万1412人、女子11万5322人で、女子数を100とすると男子数は105.3となります。

この統計は [神奈川県学校基本調査]



中学校教員数(本務者)

1万4577人

4-09

指標 2012年度の神奈川県内の中学校の本務教員数は1万4577人で、前年度より177人(1.2%)増加しました。2000年度と比べると1144人(8.5%)増加しています。

なお、2012年度の本務教員1人当たりの生徒数は16.2人で、2000年度(17.6人)と比べると、1.4人減少しています。

男女別では、2012年度の女性教員は6279人で、全教員数に対する割合は43.1%となり、男性教員は8298人で、56.9%となっています。女性教員の割合は2000年度の40.9%から2.2ポイント上昇しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

用語 教員(本務者)

教員の「本務者」とは、当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員のことをいい、本務者以外を兼務者といいます。

統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年

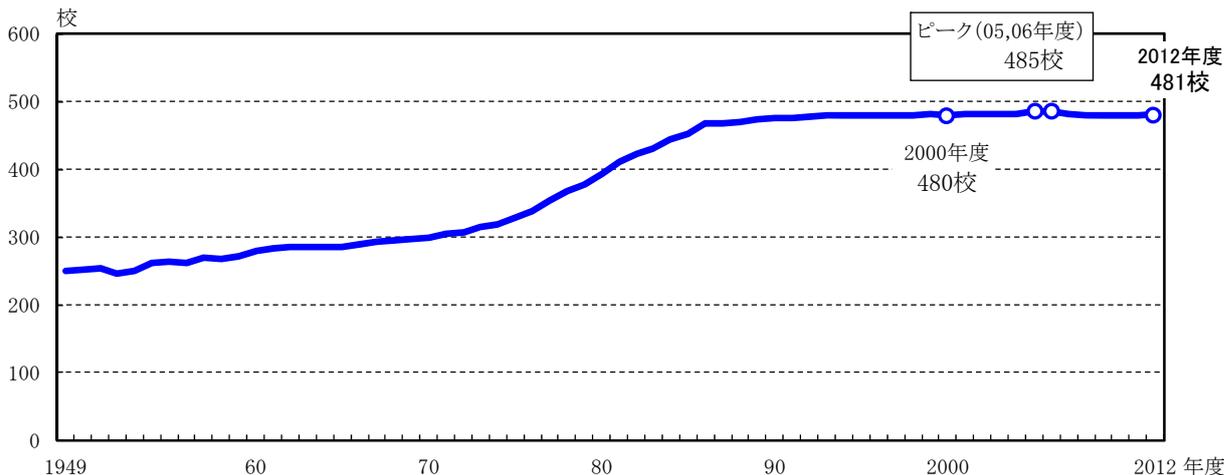
右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

トピックス 学校基本調査

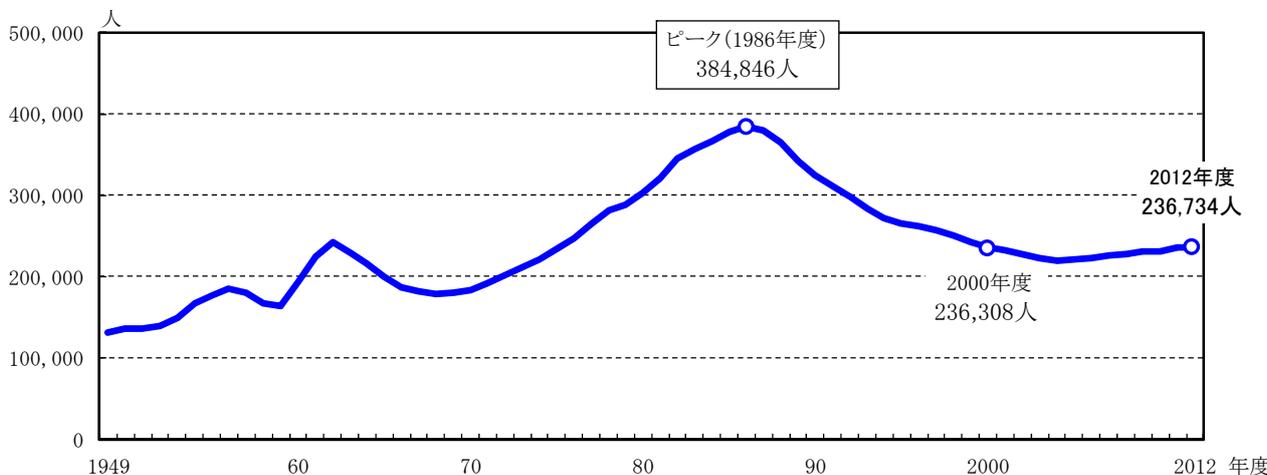
学校基本調査 [文部科学省]
公表周期：毎年

学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

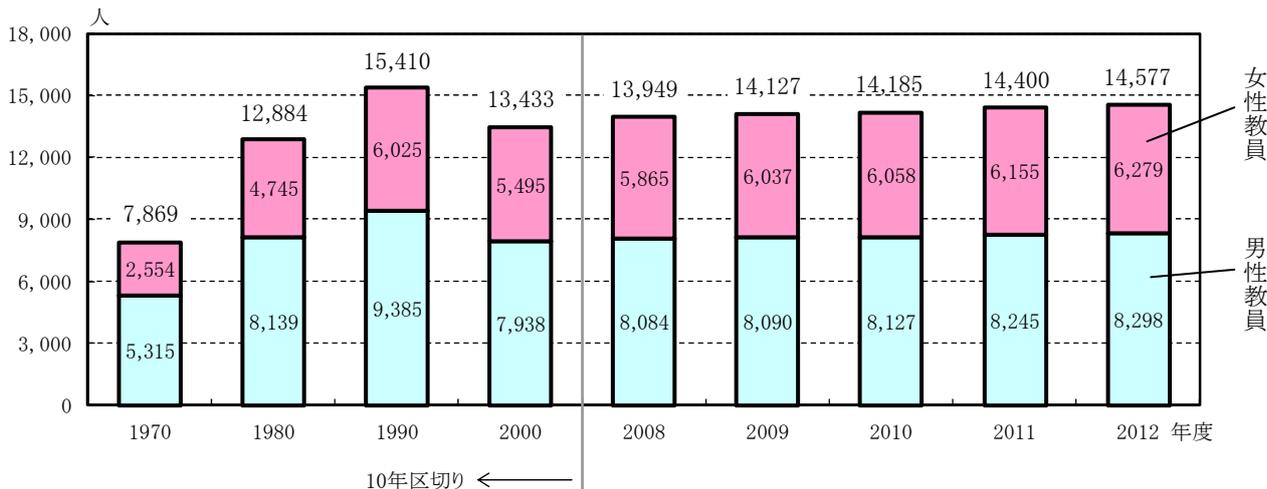
(4-07 中学校数)



(4-08 中学校生徒数)



(4-09 中学校教員数 (本務者))



(4-07~4-09 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-07~4-09

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 国立、公立、私立の合計で分校を含む(1970年度、1980年度の教員数は国立を除く)。
- 3) 教員数は本務者の数。本務者とは当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員をいう。

高等学校数 (全日制・定時制)

236校 4-10

指標 2012年度の神奈川県内の高等学校数は236校で、前年度より1校(0.4%)増加しました。2000年度と比べると25校(△9.6%)減少しています。

神奈川県内の高等学校数は、1970年代前半から1980年代後半にかけて大きく増加しており、1987年度までの15年間で96校増加しました。その後はほぼ横ばいで推移しました。1949年度以降で最も多かったのは2002年度の264校で、その後は減少傾向が続いています。

最も高等学校数が多かった2002年度と比べて、2012年度は28校(△10.6%)減少しています。

設置者別では、県立が143校、市立が15校で前年度と同数となり、私立が78校で1校増加しました。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

設置者別高等学校数の推移 (神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：校)

区分	計	県立	市立	私立
2008	240	147	15	78
2009	238	144	16	78
2010	236	143	16	77
2011	235	143	15	77
2012年度	236	143	15	78

男女別高等学校生徒数の推移 (神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：人)

区分	計	男子	女子
2008	190,016	96,279	93,737
2009	191,747	97,267	94,480
2010	195,761	98,925	96,836
2011	198,436	100,366	98,070
2012年度	201,387	101,709	99,678

高等学校生徒数 (全日制・定時制)

20万1387人 4-11

指標 2012年度の神奈川県内の高等学校生徒数は20万1387人で、前年度より2951人(1.5%)増加しました。2000年度と比べると2万6342人(△11.6%)減少しています。

1949年度以降で最も生徒数が多かったのは、1989年度の34万8555人で、その後は2007年度まで減少が続いていましたが、2008年度から2012年度まで5年連続の増加となっています。

最も生徒数が多かった1989年度に比べると、2012年度は14万7168人(△42.2%)減少しています。

2012年度の高等学校生徒数の男女別の内訳は、男子10万1709人、女子9万9678人で、女子数を100とすると男子数は102.0となります。

この統計は [神奈川県学校基本調査]



高等学校教員数(全日制・定時制) (本務者)

1万2341人 4-12

指標 2012年度の神奈川県内の高等学校の本務教員数は1万2341人で、前年度より26人(△0.2%)減少しました。2000年度と比べると1506人(△10.9%)減少しています。

なお、2012年度の本務教員1人当たりの生徒数は16.3人で、2000年度(16.4人)と比べると、0.1人減少しています。

男女別では、2012年度の女性教員は3564人で、全教員数に対する割合は28.9%となり、男性教員は8777人で、71.1%となっています。女性教員の割合は2000年度の23.8%から5.1ポイント上昇しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

用語 教員(本務者)

教員の「本務者」とは、当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員のことをいい、本務者以外を兼務者といいます。

統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年

右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめで公表しています。

トピックス 学校基本調査

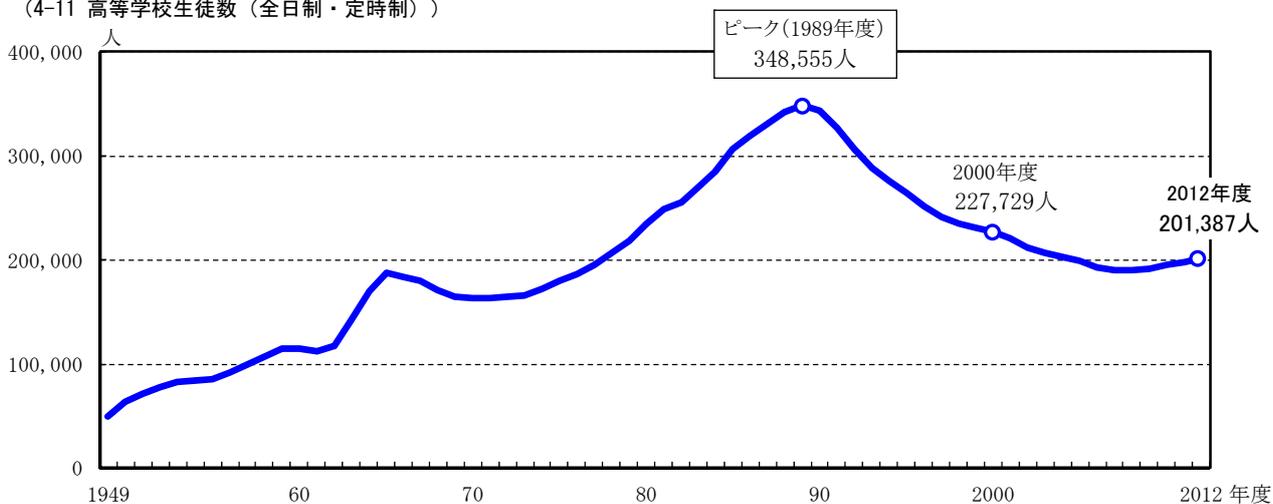
学校基本調査 [文部科学省]
公表周期：毎年

学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

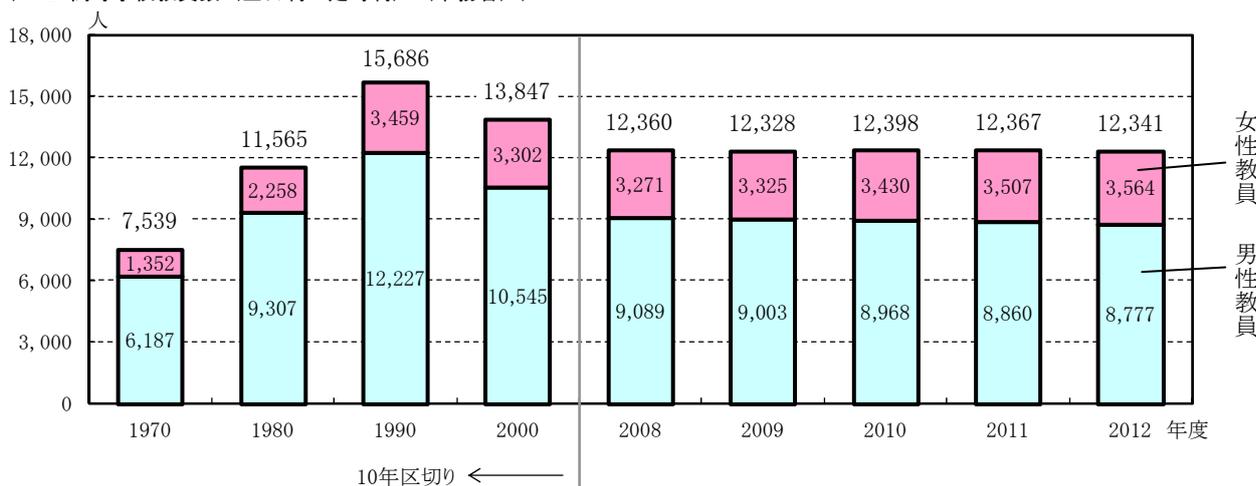
(4-10 高等学校数 (全日制・定時制))



(4-11 高等学校生徒数 (全日制・定時制))



(4-12 高等学校教員数 (全日制・定時制) (本務者))



(4-10~4-12 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-10~4-12

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 県立、市立と私立校の合計で、全日制と定時制の学校数。
- 3) 高等学校の生徒数は本科、専攻科、別科の合計。
- 4) 教員数は本務者の数。本務者とは当該校を本務校とする常勤(フルタイム)の教員をいう。

専修学校数

110校 4-13

指標 2012年度の神奈川県内の専修学校数は110校で、前年度と同数でした。2000年度と比べると18校(△14.1%)減少しています。

専修学校制度が発足した1976年以降で、最も専修学校が多かったのは1994年度の139校ですが、その後は減少傾向が続いており、2012年度を最も多かった1994年度と比べると29校(△20.9%)減少しています。

設置者別では、公立が5校、私立が105校で、いずれも前年度と同数となっています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

専修学校生徒数

2万3976人 4-14

指標 2012年度の神奈川県内の専修学校生徒数は2万3976人で、前年度より314人(1.3%)増加しました。2000年度と比べると1819人(△7.1%)減少しています。

専修学校制度が発足した1976年以降で、最も生徒数が多かったのは、1992年度の3万4541人で、その後は2001年度まで9年連続で減少しました、2002年度から2005年度まで4年連続の増加、2006年度から2009年度まで4年連続の減少、2010年度から2012年度までは3年連続の増加となっています。

最も生徒数が多かった1992年度に比べると、2012年度は1万565人(△30.6%)減少しています。

2012年度の専修学校生徒数の男女別の内訳は男子1万471人、女子1万3505人で、女子数を100とすると男子数は77.5となります。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

用語 専修学校、各種学校

専修学校とは学校教育法第124条に規定される学校をいい、従来の各種学校制度を基盤として1976年から発足した制度で、自動車整備、情報処理、看護、介護福祉、簿記など様々な専門分野の学校があります。

各種学校とは学校教育法第134条に規定される学校です。

各種学校数

19校 4-15

指標 2012年度の神奈川県内の各種学校数は19校で、前年度と同数でした。2000年度と比べると10校(△34.5%)減少しています。

1949年度以降で最も各種学校が多かったのは1971年度の186校ですが、その後は減少傾向に転じました。1976年に専修学校制度が発足し、1976年度以降は各種学校から専修学校への切り替えが進んだため、急速に減少しました。2012年度を最も多かった1971年度と比べると167校(△89.8%)減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

各種学校生徒数

2988人 4-16

指標 2012年度の神奈川県内の各種学校生徒数は2988人で、前年度より70人(△2.3%)減少しました。2000年度と比べると974人(△24.6%)減少しています。

1949年度以降で最も生徒数が多かったのは、1963年度の5万4542人ですが、2012年度はそこから5万1554人(△94.5%)減少しています。

2012年度の各種学校生徒数の男女別の内訳は男子1453人、女子1535人で、女子数を100とすると男子数は94.7となります。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

設置者別学校数・男女別生徒数の推移 (神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：校)

区分	専修学校			各種学校
	計	公立	私立	私立
2008	119	5	114	19
2009	115	5	110	19
2010	114	5	109	19
2011	110	5	105	19
2012年度	110	5	105	19

(各年度5月1日現在、単位：人)

区分	専修学校			各種学校		
	計	男子	女子	計	男子	女子
2008	24,363	11,395	12,968	3,271	1,581	1,690
2009	23,379	10,806	12,573	3,342	1,621	1,721
2010	23,627	10,850	12,777	3,290	1,600	1,690
2011	23,662	10,624	13,038	3,058	1,506	1,552
2012年度	23,976	10,471	13,505	2,988	1,453	1,535

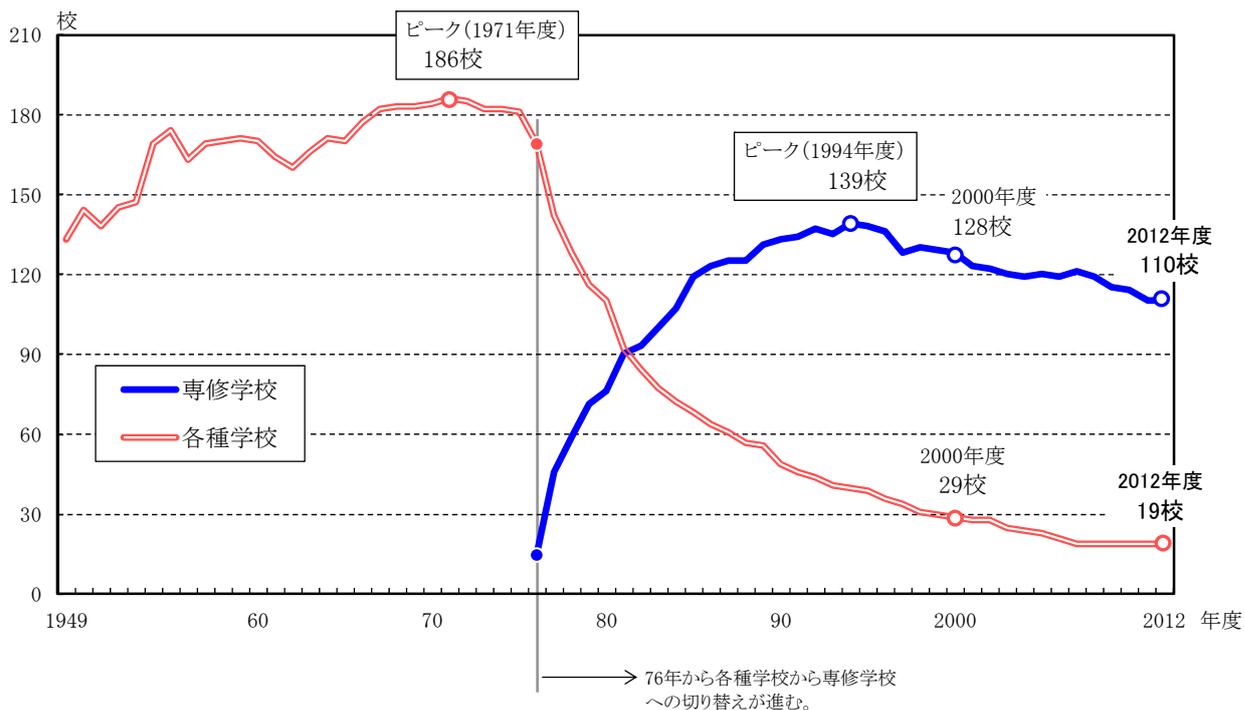
統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年
右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

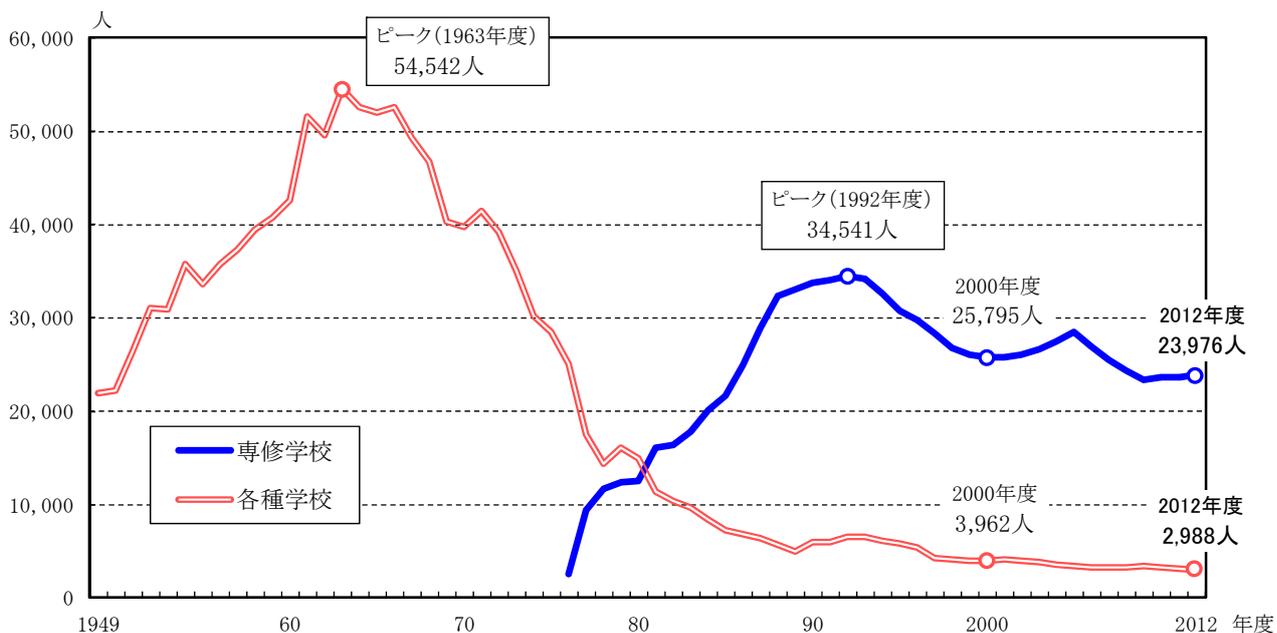
トピックス 学校基本調査

学校基本調査 [文部科学省]
公表周期：毎年
学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

(4-13 専修学校数) (4-15 各種学校数)



(4-14 専修学校生徒数) (4-16 各種学校生徒数)



(4-13~4-16 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-13~4-16

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 公立、私立の合計。

短期大学数

19校 4-17

指標 2012年度の神奈川県内の短期大学数は19校で、前年度より1校(△5.0%)減少しました。2000年度と比べると12校(△38.7%)減少しています。

1986年度以降で最も短期大学数が多かったのは1995年度から2001年度までの31校ですが、その後は減少傾向が続いており、増加した年はありません。2012年度は3年ぶりの減少でした。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

短期大学学生数

7498人 4-18

指標 2012年度の神奈川県内の短期大学学生数は7498人で、前年度より255人(△3.3%)減少しました。2000年度と比べると1万1048人(△59.6%)減少しています。

1986年度以降で、最も短期大学学生数が多かったのは、1993年度の2万3782人です。その後は、19年連続で減少が続いています。1993年度に比べると、2012年度は1万6284人(△68.5%)減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

大学数

49校 4-19

指標 2012年度の神奈川県内の大学数は49校で、前年度と同数でした。2000年度と比べると11校(28.9%)増加しています。

1986年度以降で、大学数が減少した年はなく、2002年度から2007年度までは6年連続で増加しました。最も大学数が多かったのは2010年度から2012年度までの49校です。

2012年度の内訳は、学部と大学院を設置しているものが35校、学部のみを設置しているものが11校、大学院のみを設置しているものが3校です。

なお、県内に本部を設置している学校は29校です。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

大学学生数

20万3105人 4-20

指標 2012年度の神奈川県内の大学学生数は20万3105人で、1986年度以降で最も大学学生数が多かった前年度より3599人(△1.7%)減少しました。減少したのは5年ぶりです。2000年度と比べると1万1349人(5.9%)増加しています。

1986年度以降、大学学生数は2003年度まで増加が続き、2004、2006、2007年度は減少しましたが、2008年度から2011年度までは4年連続で増加していました。

男女別では男子12万3668人、女子が7万9437人で、女子数を100とすると男子数は155.7となります。

大学学部の学生数は18万6820人で、大学院の学生数は1万4534人です。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

男女別学生数の推移 (神奈川県計)

(各年度5月1日現在、単位：人)

区分	短期大学			大 学		
	計	男子	女子	計	男子	女子
2008	9,226	682	8,544	200,315	126,668	73,647
2009	8,889	645	8,244	201,853	126,081	75,772
2010	8,233	547	7,686	206,097	127,554	78,543
2011	7,753	464	7,289	206,704	126,963	79,741
2012年度	7,498	410	7,088	203,105	123,668	79,437

卒業後の進路

2012年3月の短期大学の卒業者は3289人です。大学等への進学率は11.5%、就職率は68.7%です。

大学学部の卒業者は3万5724人です。大学院等への進学率は11.0%、就職率は60.9%です。

学部・大学院別大学学生数 (神奈川県計)

(2012年5月1日現在)

大学学生数 203,105人※	学部学生数 186,820人	修士課程 10,838人 博士課程 3,367人 専門職学位課程 329人
	大学院学生数 14,534人	

※学部学生、大学院学生のほか専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含みます。

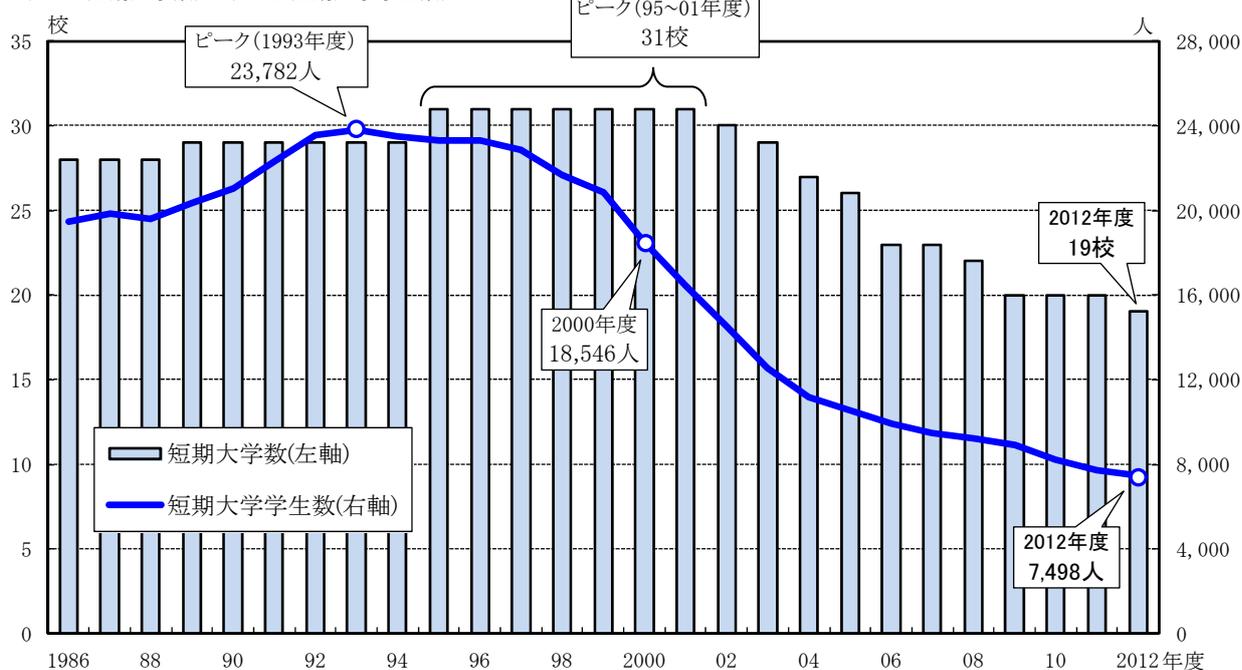
統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年
右記の学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

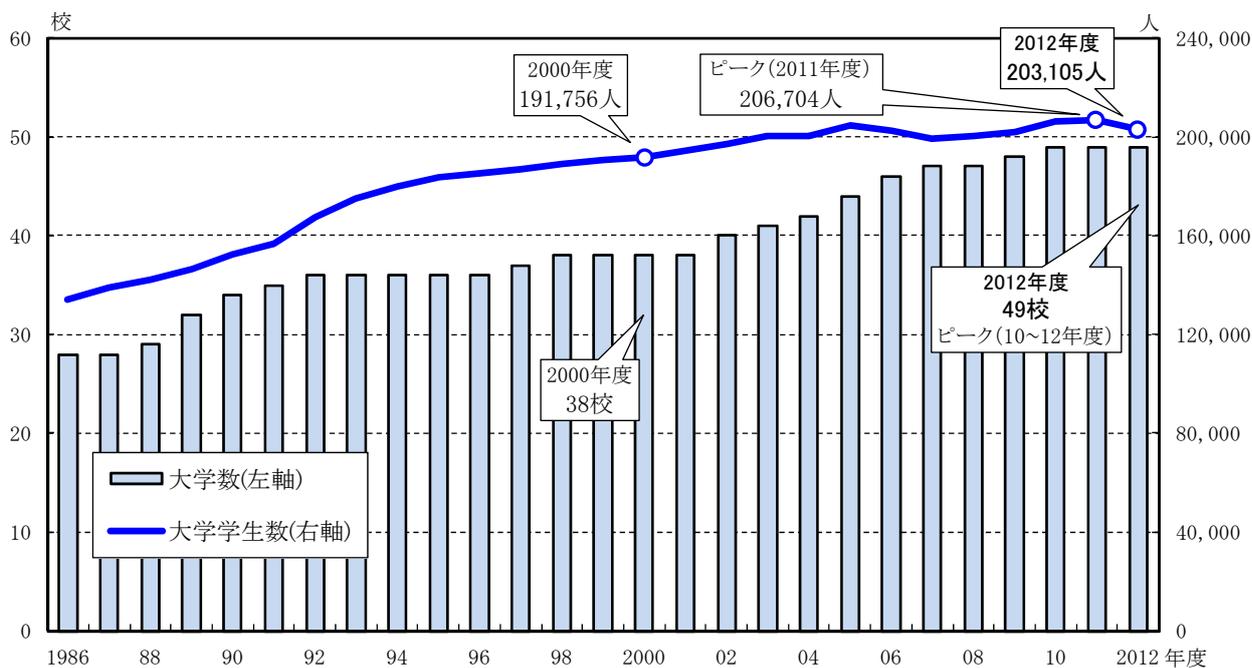
トピックス 学校基本調査

学校基本調査 [文部科学省]
公表周期：毎年
学校教育法で規定された幼稚園から大学まで全国すべての学校を対象に、その学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等が調査されます。

(4-17 短期大学数) (4-18 短期大学学生数)



(4-19 大学数) (4-20 大学学生数)



(4-17~4-20 神奈川県学校基本調査)

注釈

4-17~4-20

- 1) 各年5月1日現在の値。
- 2) 通信教育のみを行う私立を除く。
- 3) 学校数は県内に学部・研究科・学科を設置している学校の数。
- 4) 短期大学学生数、大学学生数は県内所在の短期大学、大学に在籍する学生の数。

小学校帰国児童数	853人	4-21
小学校外国人児童数	3829人	4-22

指標 2012年5月1日現在、神奈川県内の小学校で2011年度間に帰国した帰国児童数は853人で、前年度より14人(△1.6%)減少しています。また、5月1日現在の外国人児童数は3829人で、前年度より94人(△2.4%)減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

用語 帰国児童、帰国生徒

「帰国児童」又は「帰国生徒」とは、海外勤務者等の子どもで引き続き1年を超える期間海外に在留し、前年度のうちに帰国した児童又は生徒をいいます。

中学校帰国生徒数	383人	4-23
中学校外国人生徒数	1975人	4-24

指標 2012年5月1日現在、神奈川県内の中学校で2011年度間に帰国した帰国生徒数は383人で、前年度より55人(△12.6%)減少しています。また、5月1日現在の外国人生徒数は1975人で、前年度より64人(△3.1%)減少しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

高等学校帰国生徒数	198人	4-25
高等学校外国人生徒数	1256人	4-26

指標 2012年5月1日現在、神奈川県内の高等学校で2011年度間に帰国した帰国生徒数は198人で、前年度より7人(△3.4%)減少しています。また、5月1日現在の外国人生徒数は1256人で、前年度より55人(4.6%)増加しています。

この統計は [神奈川県学校基本調査]

大学等在籍留学生数	7828人	4-27
-----------	-------	------

指標 2012年5月1日現在、神奈川県内の大学等に在籍する外国人留学生は、7828人(126校)で、前年度より380人(△4.6%)減少しています。

その内訳は、大学2826人(39校)、専修学校2018人(35校)、大学院1777人(32校)、日本語教育機関1021人(15校)、その他186人(5校)となっており、いずれも前年度より減少しています。

出身国・地域別で見ると、中国が4718人、韓国1173人、台湾224人、タイ201人、ネパール188人、ベトナム183人の順で、アジアが7300人で全体の93.3%となります。その中でも、中国が全体の60.3%、韓国が15.0%と多くを占めています。

この調査は [神奈川県内大学等在籍留学生調査]

用語 在籍留学生

ここでいう在籍留学生は、県内の大学、大学院、短期大学、大学校、専修学校(専門課程)、高等専門学校等において教育を受ける外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める「留学」の在留資格により在留する者。

出身国・地域別留学生数 (神奈川県計)

(2012年5月1日現在)

地域・国名	国数	人数(人)	構成比(%)
アジア	20	7,300	93.3
中国		4,718	60.3
韓国		1,173	15.0
台湾		224	2.9
タイ		201	2.6
ネパール		188	2.4
ベトナム		183	2.3
中東	10	110	1.4
ヨーロッパ	24	165	2.1
ロシア、NIS諸国	10	30	0.4
北米	2	69	0.9
中南米	9	30	0.4
アフリカ	23	91	1.2
大洋州	2	17	0.2
その他		16	0.2
計	100	7,828	100.0

NIS諸国とは、旧ソ連の新独立国のうちロシア連邦、エストニア、ラトビア、リトアニアを除く11か国のこと。その他は、不明・無国籍等。

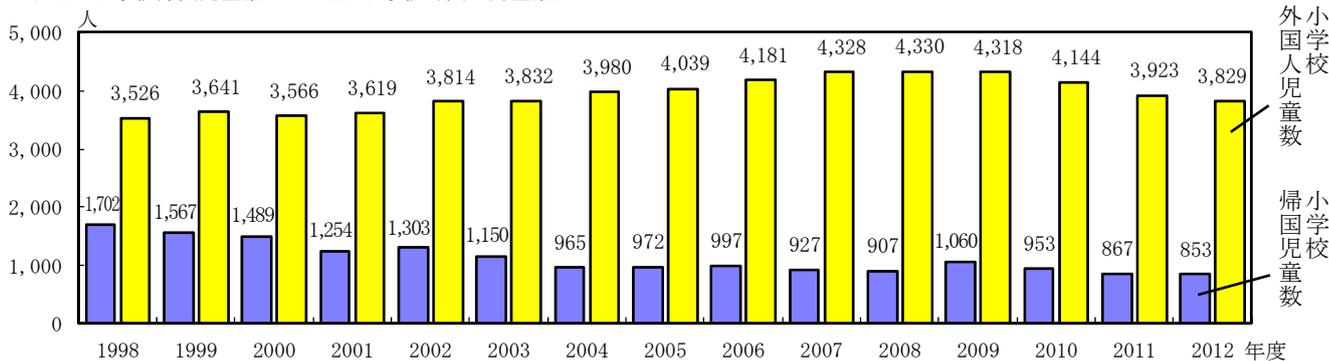
統計情報 神奈川県学校基本調査

神奈川県学校基本調査報告 [県統計センター]
公表周期：毎年
学校基本調査のうち神奈川県分について基本的な事項を独自に取りまとめて公表しています。

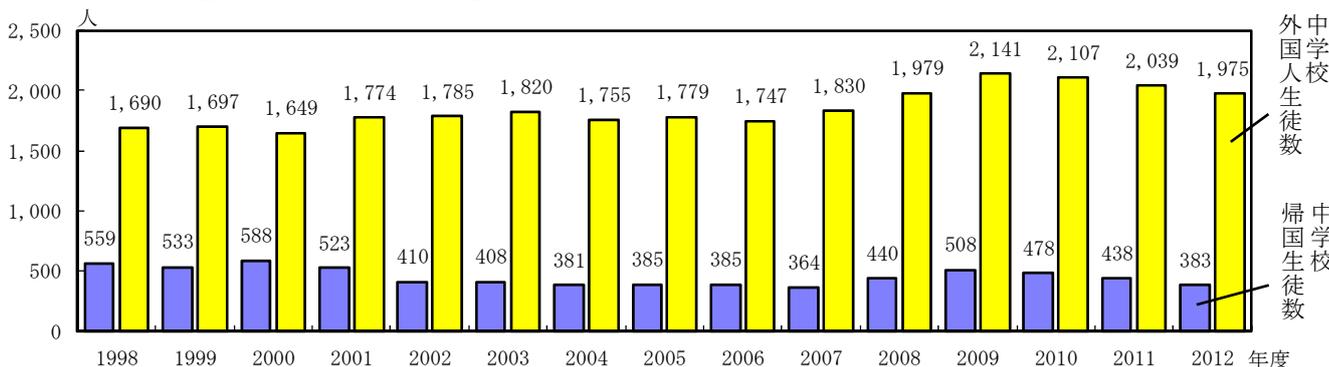
統計情報 神奈川県内大学等在籍留学生調査

神奈川県内大学等在籍留学生調査[県国際課]
公表周期：毎年
県内の大学などに対して調査票を送付し、留学生受け入れ状況を取りまとめているものです。

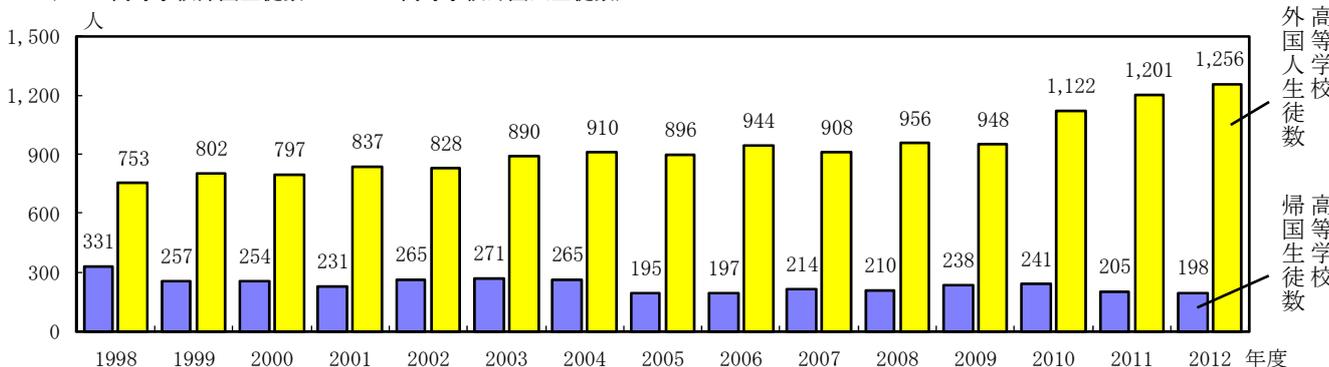
(4-21 小学校帰国児童数 4-22 小学校外国人児童数)



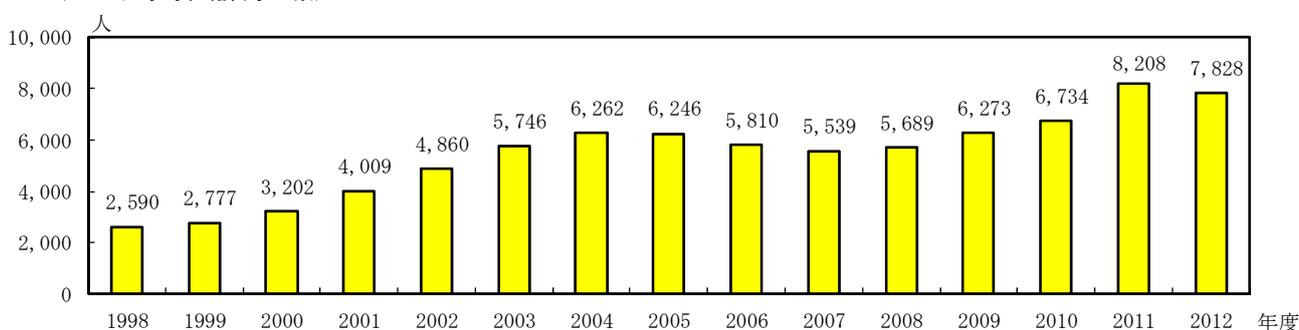
(4-23 中学校帰国生徒数 4-24 中学校外国人生徒数)



(4-25 高等学校帰国生徒数 4-26 高等学校外国人生徒数)



(4-27 大学等在籍留学生数)



(4-21~4-26 神奈川県学校基本調査) (4-27 神奈川県内大学等在籍留学生調査)

注釈

4-21~4-26

1) 各年5月1日現在の値。

4-27 大学等在籍留学生数

1) 各年5月1日現在の値。神奈川県内の大学、大学院、短

期大学、大学校、専修学校(専門課程)、高等専門学校等において教育を受ける外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める「留学」の在留資格により在留する者。

教育編からのクイズ かながわ Q&A



- Q 1 神奈川県の小学校児童数は、最も多かった1981年度で75万4318人ですが、2012年度は何人？
- ① 47万5519人
 - ② 62万5519人
 - ③ 77万5519人
- Q 2 神奈川県の中学校生徒数は、最も多かった1986年度で38万4846人ですが、2012年度は何人？
- ① 13万6734人
 - ② 23万6734人
 - ③ 33万6734人
- Q 3 神奈川県の高等学校生徒数は、最も多かった1989年度で34万8555人ですが、2012年度は何人？
- ① 20万1387人
 - ② 30万1387人
 - ③ 40万1387人
- Q 4 2012年度の神奈川県の短期大学数は2000年度から12校減少し19校です。2000年度の神奈川県の大学数は38校ですが、2012年度は何校？
- ① 27校
 - ② 38校
 - ③ 49校
- Q 5 神奈川県の大学等に在籍する留学生数は、2000年度で3202人でしたが、2012年度は何人？
- ① 2828人
 - ② 4828人
 - ③ 7828人

(いずれの問題も5月1日現在の数値。)



答えは71ページ